



第533号

スズキ労連

2025年

6月号

スズキ関連労働組合連合会

静岡県浜松市中央区増楽町20

電話(053)447-3079 FAX.053-489-5523

発行人 武藤憲司

編集人 神保昌世

2025年安全標語

スズキ労連安全標語 入賞作品決定!

過去最多応募総数 8,303件! (昨年応募7,991件)

2025年安全標語 最優秀作品(労働災害防止部門)

気の緩み ふとした油断がケガの元
確認一つで防げる災害

平岡ボデー労働組合 中島 宣明さん

7月はスズキ労連安全強化月間です!

全国安全週間とは、厚生労働省と中央労働災害防止協会が主唱している、毎年7月1日から7日までの7日間、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

スズキ労連においても7月を安全強化月間としており、労働災害・交通事故未然防止に向けて『安全標語』を募集しました。今回も前年同様、「労働災害防止部門」と「交通事故防止部門」の2部門の標語を募集し、過去最多となる、総計8,303作品の応募がありました。組合員のみなさんのご協力に感謝申し上げます。

スズキ労連にて審査の結果、全11作品の入賞を決定しました。労働災害防止部門の最優秀賞1作品、優秀賞の5作品については、7月の安全強化月間に標語ポスターを各組合の掲示板等に掲示をします。日頃から安全活動を実施していますが、7月については、いつも以上に「基本を守り、無災害」に取りくみましよう。

※交通事故防止部門の入賞作品については「秋の交通安全運動期間」前に発表、ポスター掲示を行います。

自動車総連マスコット
安全ジョー

2025年入賞作品一覧(労働災害防止部門)

応募総数: 8,303件
労働災害防止: 6,638件
交通事故防止: 1,665件

受賞	安全標語	組合名	支部名	名前
最優秀賞	気の緩み ふとした油断がケガの元 確認一つで防げる災害	平岡ボデー労働組合		中島 宣明さん
優秀賞	指差しで 気持ちと体を結束し 出さぬ災害 守るぞ安全	スズキ労働組合	湖西支部	山本 耕吉さん
	保護具の乱れは 職場のみだれ 我らの安全 万全に!!	スニック労働組合	竜洋支部	武藤 裕子さん
	安全に 働くあなた かつこいい	スズキ労働組合	湖西支部	水鳥 樹希さん
	伝えよう 技術と知識と安全意識 守りぬこう ルールと手順と安全職場	スニック労働組合	湖西支部	杉田 龍亮さん
	確認ヨシ! 必ず行う指差呼称 みんなの意識で労災ゼロに!	スズキ部品秋田労働組合		佐藤 江梨香さん
佳作	見たはず したはず やったはず 記憶に頼らず 現場を確認 近道行為は災害の元	ベルソニカ労働組合		漆畑 拓斗さん
	何かヘン 小さな気づきを見落とさず 今日も継続 無事故の一日	平岡ボデー労働組合		大谷 享子さん
	守りたい 未来に向けた 指示呼称 しっかり確認 安全第一	スズキ労働組合	本社支部	浜本 行弘さん
	その違和感 あたりまえと思わず打ち上げて 皆で高めよう安全意識	スズキ労働組合	磐田支部	藤平 一貴さん
	たち止まり 心のベルト ギュット締め	スズキ販売労働組合	自販大分支部	立花 絵美さん

たくさんの応募ありがとうございました! 参加賞は、各組合を通じて7月中旬ごろお届けします。

令和7年度「全国安全週間」のお知らせ

〈令和7年度「全国安全週間」スローガン〉 「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」

厚生労働省、中央労働災害防止協会が主唱する「令和7年度全国安全週間」が本年も実施されることを受け、スズキ労連の上部団体である自動車総連としても取り組みを実施します。

【参考：厚生労働省・中央労働災害防止協会主唱の運動期間】

令和7年7月1日(火)～7月7日(月)

【厚労省】令和7年度全国安全週間実施要綱より

- ・令和7年度の全国安全週間のスローガンは「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」。
- ・前年、令和6年の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みであり、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況。
- ・特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況。

スズキ労連第9回 ボウリング大会 開催中!

スズキ労連ボウリング大会は『文体活動を通じて、コミュニケーションを深め、組合員の親睦を図る』ことを目的に、2015年9月より第1回目をスタートし、第2回目までは10カ月間の期間で、第3回目以降は1年間のロングランとして継続開催してきました。特に第3回ボウリング大会は約400チームがエントリーし、ようやく労連のレクイベントとして浸透してきたところ、第5回目より新型コロナウイルス感染拡大の影響により長きに渡り中止せざるを得ない状況が続きました。しかし、「ボウリング大会を復活して欲しい」と多くの組合員からの声をいただき、2022年6月より第6回ボウリング大会として開催を再開しました。5月末まで開催していた第8回ボウリング大会は、271チームのエントリーがありました。第9回ボウリング大会は、さらに多くの組合員にエントリーしていただきたいと思っております。下記にエントリー要項を記載しておりますので、是非エントリーください。



第9回ボウリング大会開催要項

開催時期：2025年6月1日(日)～2026年5月31日(日)

対象：各組合、各支部主催のボウリング大会 加盟組合の組合員+家族

エントリー：各組合、各支部主催のボウリング大会のスコアを労連事務局に提出

注意事項：1チーム3人または4人以上とする。個人戦はエントリー不可

賞：1位、2位、3位、4位、5位、飛び賞、ブービー賞

賞品：ジェフグルメカード



～文体行事助成金(労連賞)について～

スズキ労連では各加盟組合が行う文体行事等に「スズキ労連賞」という形で協賛し、スズキ労連の存在をPRすることを目的とした地域に関係なく平等に各組合の活動を支援する文体行事助成金制度があります。

主には各組合・各支部が主催するボウリング大会などで「スズキ労連賞」を賞の一部にして利用していただいておりますが、ボウリング大会のみならず、組合の文体行事全般を対象としていますので、是非各組合の文体行事への積極的な参加をお願いします。



スズキ品富山労働組合
ボウリング大会にて

スズキ労連
自動車総連

2025年福祉カンパのお願い

7月1日(火)～7月31日(木)

自動車総連・スズキ労連は、毎年夏季の一時金支給時期に福祉カンパを展開しています。このカンパ金は社会の恵まれない人たちやハンディキャップを負った皆さんに、私たちの気持ちを自動車や福祉機器に代えて寄贈しようと毎年取り組んでおります。

昨年は皆様のご協力により、スズキ労連で6,699,046円、自動車総連全体では156,673,707円集まりました。ありがとうございました。

今年も引き続き、ご理解とご協力をお願い致します。

自動車総連福祉カンパ金の使途

- 社会福祉施設・団体等への車両および物品寄贈
- その他福祉団体への支援
- 「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」開催
- 「連合・愛のカンパ」への拠出



2024年度福祉カンパ活動

新潟県阿賀野市の「あおぞら」様にエブリイを、宮城県仙台市の「麦の会」様にスペーシアベースを寄贈しました。



2025.3.24 あおぞら様



2025.3.25 麦の会様

2024年度は、残り2施設、福井県吉田郡の「はあもにい永平寺」様及び、栃木県宇都宮市の「自立生活センターとちぎ」様へ車両寄贈を予定しています。

ナイスハートふれあいのスポーツ広場

2024年度は全国46都道府県で開催されました。



2024年ナイスハートふれあいのスポーツ広場静岡大会の様子

【ナイスハートふれあいのスポーツ広場とは?】

「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」は自動車総連の20周年記念事業として、平成4年から財団法人国際障がい者記念ナイスハート基金の協力を得て開催されています。スポーツを通じてハンディキャップをもった方々と自動車産業に従事する組合員とがふれあいを深め、そういう中から「自立の心」と思いやりの心」を育む事を目的として開催されています。

スズキ労連第18次海外調査団を派遣しました



スズキ・モーターサイクル・インドア (SMIPL) にて
第18次海外調査団員

スズキ労連では、世界各地で活躍する組合員の実態を把握するため、隔年で海外調査団を派遣してまいりました。新型コロナウイルスの影響により一時中断しておりましたが、このたび6年ぶりに活動を再開し、2025年6月1日(日)～8日(日)に第18次調査団として12名をインドへ派遣しました。

期間中は、マルチ・スズキ (MSIL) をはじめ、SMIPL、バルソニカ・インドア、販売店 (NEXA)、TDSGなどを訪問。現地の労働環境や事業内容の把握、駐在員との意見交換を通じて、グローバルな視点を深める貴重な機会となりました。

今回の派遣に際し、ご協力をいただいた関係各社に心より御礼申し上げます。なお、後日「第18次調査報告書」にて、改めて活動内容をご報告いたします。

節電を心掛けよう!

「連合エコライフ ピークカットアクション2025夏」の取り組みに連動し、スズキ労連の上部団体である自動車総連も7月1日から8月31日までを強化月間として呼びかけています。一人ひとりが節電をより心掛けていただくよう、職場やご自宅などで、できることから取り組みましょう。



はたらくのそばで、
ともに歩む
連合エコライフ

2025 夏 ピークカットアクション

① 省エネモードなど各機器の節電機能を活用しよう。 ② プリンター等の共有機器の使用台数を必要最低限に。 ③ 仕事おわりに共有機器の主電源を切って終了。できればテーブルタップの電源オフ。	① 締め込みすぎず、温度設定を控えめに (強にしない)。 ② 扇の余分な開閉をせず、開閉時間も短く。
④ 屋内、屋外等の職場環境に応じた服装の調整。クールビズの実践を。 ⑤ 冷房機器の使用時は、カーテン・ブラインド、サーキュレーターを活用しよう。 ⑥ こまめにエアコンのフィルター清掃をしよう。 ⑦ 熱中症対策をしながら節電に取り組もう。暑さ指数*や各種アラートをチェックし、水分・塩分を補給しよう。	① 温水洗浄便座は、温度設定を控えめに。 ② 使用後は便座のふたを閉めて。
⑧ 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、こまめな消灯を。 ⑨ LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを。 ⑩ 目に負担をかけない範囲で明かりを抑えよう。	① 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に。

※暑さ指数...熱中症を予防することを目的に、人間の熱バランスに影響の大きい
①気温、②湿度、③輻射熱の3つを取り入れた指標

連合エコライフ
環境にやさしい生活

タワシから
エコマーク

- 環境に配慮した製品を選択しよう
ECO
●消費電力の低い省エネ製品を選ぶ。
- 国産および身近な地域でつくられた食品や製品を選ぼう
●利用する食品・製品の産地を確認し、国産品や地元産品を選ぶ。
- 電化製品を上手に使うことで消費電力を減らそう
●省エネ製品を選ぶ。
- 水の蛇口はこまめに閉めよう
●手洗い・歯磨き・洗顔・洗髪・洗濯機・トイレには必要。利用後は必ず水を止める。
- 通勤はエコ通勤・エコドライブで
●通勤は徒歩や自転車、必要時は公共交通機関を利用。
- ゴミは減量し、再利用可能な資源を分別して有効利用しよう
●デカップルの容器は、しっかりと洗って再利用。
- マイエコバッグ、マイスプーン、マイフォークを利用しよう
●マイエコバッグ、マイスプーン、マイフォークを利用。
- 食品廃棄・ロスは減らそう
●食べ残しを減らす。必要に応じて食品を冷凍保存。
- 使った紙はリサイクルへ。木材製品は国産材・間伐材のものをを選び森林にやさしく
●リサイクル紙や再生紙製品を選ぶ。

日本労働組合総連合会 (連合)

※成分や用途について、取り扱い事項を守ってください。



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活...
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!
0120-500-073
*月～金 9:00～18:00
相談無料・秘密厳守



【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市中央区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-489-5523
e-mail: jimbo@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード... saw2007



【編集後記】

梅雨の季節となり、雨の日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。じめじめとした気候に体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞご自愛ください。今号では、スズキ労連安全標語の入賞作品を特集しました。入賞された皆さまおめでとうございます。記事にもあるとおり7月はスズキ労連安全強化月間です。労災、通災の未然防止に向けて取り組んでまいりましょう。 じんじん